

芸劇、 劇的 リニュー アル。

東京芸術劇場
リニューアル
オープン
特別号外

September 1, 2012
Tokyo Metropolitan Theatre
Renewal opening

芸術監督

野田秀樹

スペシャルインタビュー

リニューアルオープン特別企画

特集 **設計者と巡る『芸劇』探検ツアー**

マーラー「復活」、チャイコフスキー
チクルスの聴きどころ

音楽評論家 奥田佳道

再始動した芸劇! 9月・10月ラインナップ

HIDEKI NODA INTERVIEW

ハコがこれだけ整ったら、あとは中身ですね。

8月中旬の関係者向け内覧会では、「舞台機構が使いやすい」「客席が見やすい」「全体のデザインに統一感と温かみがある」など、

多くの高評価が寄せられた新生芸劇。この改修には、2009年に就任した芸術監督・野田秀樹の意見も反映されている。

70年代から日本演劇界を牽引し、世界各地で作品を上演するクリエイターならではの視線が生きた形だ。

プレイハウスのリニューアル第1弾として上演されるNODA・MAP新作『エッグ』には、

なんと改修中の芸劇と、芸術監督までが登場する。劇作家を刺激する劇場、これから目指す劇場について聞いた。



——実際に利用した感想が届くのはこれからですが、内覧会ではリニューアルについていい評価が聞こえてきています。

野田：そうですね。蛭川幸雄さんがプレイハウス(中ホール)を下見された際にも、お褒めの言葉をくださったそうです。

——ほんの一例ですが、「舞台からは客席が空いているように見えるので、中ホールの客席中央にある通路を狭くできないか」「劇場入口に、各ホールの演目がひと目でわかるボードがほしい」など、野田さんからの希望や提案も多く改修に反映されました。

野田：ありがたいですよ。いくら「この劇場のここが使いにくい」と言っても、それが本当に解決されるなんて、普通はほとんどありませんから。最初は「予算的に厳しい」と言われたこともありましたが、いろんな方が知恵を絞ってくれまし

改修の希望、 粘った甲斐がありました

た。粘ってよかった(笑)。かつて中ホールは、声が聞き取りにくい劇場として知られていましたけど、そこに関しても手直ししてもらいましたし、以前と比べ、さまざまな点がかなりよくなりました。

——新しくなった劇場に一番乗りで公演するのは、特別な気分ではないかと思いますが。

野田：素直にうれしいです。正確にはリニューアルですけど、ほとんど柿落としみたいな感じですから。過去には何度か、出来て間もない劇場で公演をしたことはありますが、これほど新しいところでは初めてかもしれません。ハコ(施設)がこれだけ整うと、あとは中身ということになりますね。「劇場が○○だから」と言い訳することができなくなりました(笑)。自分の作品だけでなく、芸劇で上演する作品に関してはどれも、これまで以上に企画や内容にこだわっていきたいと思います。

——プレイハウス第1弾となる『エッグ』は、話の入口になる場所が改修中の芸劇であったり、野田さんを彷彿とさせる芸術監督まで登場します。

野田：こんな経験はおそらく一生に1回のことなので、せっかくだから使わせてもらおうと(笑)。芸術監督の役に僕の実名を使っていないのは、いつか誰かが再演してくれる時のことを考えてです(笑)。ただ、僕は十何年に1度ぐらい

の割合で、作品の中に自分を登場させているんです。『半神』(86年)に演出家として出たし、『Right Eye』(98年)も本人役だった。周期びったりではないけれど、そろそろ(自分を劇中に)出したいタイミングだったのかもしれない(笑)。

——芸劇の芸術監督に就任されたあとだったと記憶していますが「なぜ自分が演劇を選んだか」というお話で、理由のひとつに「劇場は、人や道具がワツと集まって、ある期間、それまでなかった世界の話をして、その芝居が終わったら人も道具も跡形もなく消えて、また何もない場所になる。その潔さがいい」とおっしゃっていました。その時、劇場という場所に、ひときわ強い思入れをお持ちなのだと感じました。

野田：芝居を見始めた10代の頃にそう感じました。どんなにいい作品をつくっても、千秋楽の翌日に劇場に行ったら、装置もない、登場人物もいない、すべて消えている。芝居って、見事なぐらいの幻ぶりだなあと。脚本は残りますが、基本的に残るのは記憶と噂だけですよね。そのことに対する感慨は、ある時期まで続きましたね。最近では、登場人物に対して思うことが増えてきました。千秋楽に「この人は、明日からもういないんだな」と思いながら、(舞台の)袖から観るんです。年をとってからはアンサンブルをよく観るようになったかな。アンサンブルー一人ひとりが一生懸命やってるのを観て「ああ、演劇ってすごいなあ」と。

——『エッグ』の戯曲の中に何度か「劇場とはこういうものだ」という、野田さん流の詩的な定義とも言えるせりふが出てきますが。

野田：芝居をつくる人間の理想としては、劇場の壁を感じない芝居、劇場の椅子に座っていることを忘れてしまうような芝居が1番いい。いい劇場というのは、それをつくるのに適した空間、ということなんですけど、演劇は、最終的にはやっぱりソフト(作品)ですから。どんなにいい空間でも、中でやっているものがおもしろくなかったら栄えませんからね。

——『エッグ』の内容についてですが、登場人物が順番に歌う明るい曲が出てきたり、前半は非常に軽快に進みますが、途中からストーリーが、ある史実とシンクロしていきます。私達が見ないようにしてきた事実や事件、忘れたふりをしている歴史を再開封して、舞台上で生々しく問い直すのは、野田作品のひとつの特徴ではありますが、今回の問題も非常に重いものですね。

野田：だからと言って、もし社会派と呼ばれたりしたら抵抗を感じるんです

が。そもそも、自分の中の(創作の)動機は、若い時からほとんど変わっていませんし。ただ、使っている言葉や選んでいる世界、その出し方が、以前よりも生っぽくなっているんです。たとえば『野獣降臨』(83年)は、人間の差別の話としても読めるように書いているんですが、当時の演出スタイルや言葉だと、そこに気付いた人はほとんどいなかったと思います。今は、最初からそうした問題は出さないんだけど、途中から前面に出すようになりました。

——より伝わりやすい形で出すようになったのは、なぜですか？

野田：年をとったということが、まずありますが(笑)。たとえば「戦争」と聞いてピンと来るのは、僕の世代は大体の人が第二次大戦でしょう。僕が小さい頃、祖父や祖母が日露戦争についてあれこれ話してくれましたけど、やっぱり実感としては、かろうじて残っていた、1945年に日本は戦争に負けたんだと

あの時代を知っている 最後の世代として

いう空気のほうが記憶しています。でも今の若い人にとっては、もしかしたら第二次大戦が、僕にとつての日露戦争ぐらいの距離にあると思うんです。過去の戦いという意味では、関ヶ原の合戦と同じような距離感ですよ。自分は戦争体験者ではありませんが、第二次大戦が残した空気を少しでも知っている最後の世代としては、やはり書いておこうと考えた。そこには、井上ひさしさんやつかこうへいさんが亡くなったことも影響しているでしょうし、かなり前ですが寺山修司さんが亡くなったことも関係があるような気がしています。その方々に対するオマージュが、歴史への意識につながっているんですね。

ただ、演劇はニュースではないので、起きたことをそのままやればいいわけではない。こんな例を挙げたら偉そうですが、シェイクスピアの『リチャードⅢ世』は、事実をベースにしても、本当にあったこととは違いますよね？シェイクスピアがおもしろい物語にしたことによって『リチャードⅢ世』が残った。だから僕は、やはり演劇というものは、まずおもしろくあるべきだと考えています。おもしろいという言葉は定義が非常に難しいですけども、あくまでもそこを大切に芝居をつくっています。また今回は、タイトルが自分を動かしたところもあるんですよ。最初はそっち(史実)に行こうとは考えていなかったんですが、『エッグ』をタイトルにしようと決めた時、そっち側に行ける、文字通り転がれると思ったんです。

——ありがとうございました。『エッグ』、楽しみにしています。

野田秀樹 Hideki Noda

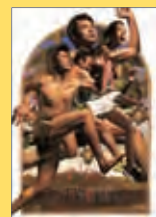
劇作家、演出家、俳優。1955年、長崎県生まれ。76年、大学在学中に劇団夢の遊眠社を結成。詩的なせりふと激しい動きの両立で、一大センセーションを巻き起こす。92年に解散し、翌年に1年間のイギリス留学へ。帰国後すぐ、出演者を作品ごとに集めるプロデュース形式のNODA・MAPを立ち上げ、『赤鬼』『THE BEE』など多くの作品を、日本のみならず世界各国で上演している。09年より、東京芸術劇場芸術監督に就任。

NODA・MAP 第17回公演 **エッグ**
9日5日[水]～10日28日[日]

作・演出 野田秀樹 **音楽** 椎名林檎

出演 妻夫木聡、深津絵里、仲村トオル、
秋山菜津子、大倉孝二、藤井隆、
野田秀樹、橋爪功

詳しい情報はPICKUPページにて

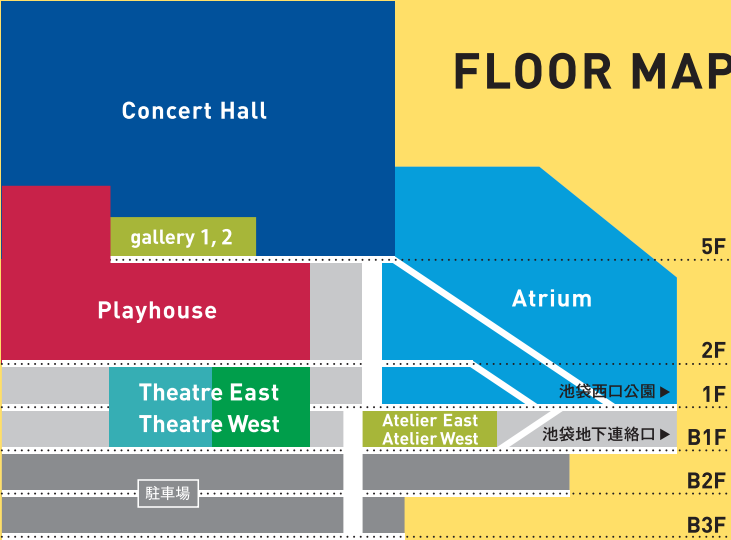




RENEWED GEIGEKI TOUR!

遂に完成!設計者と巡る『芸劇』探検ツアー

約1年半にわたる大規模改修を経て、新しく生まれ変わった東京芸術劇場。
よりよい環境で、より安心して舞台芸術を楽しめるよう、
建物本体から設備、装飾デザインに至るまで、とことんこだわり抜いて改修された。
野田芸術監督が目指すのは、国境を越え、全ての人にオープンな「出逢いと交流の場」。
たくさんの人の想いと叡智が詰まったその場所は、果たしてどんな姿で私たちを迎えてくれるのか。
オープン直前の劇場に潜入し、大変身を遂げた東京芸術劇場を徹底解剖!



B1F フラットで
自由度の高い小劇場

Theatre East — シアターイースト —

客席数324席(最大)

束立組床で、エンドステージ、スラストステージ、
センターステージなど自在なステージ構成が
できるホール。ブラックボックスに近い
ニュートラルな空間は多様な
演出に応えます。

2F 新しい文化の創造・
発信の拠点

Playhouse — プレイハウス —

客席数／834席

舞台機構、雰囲気ともに一新された、演劇、舞踊等に
好適な劇場。客席を囲むレンガの壁が良質な音響と
空間演出の2つの効果を発揮。見やすさも向上し、
舞台と客席の親密感が高まりました。
前舞台やオーケストラピットに
なる迫りも備えています。

5F 最良の音響を
生み出すホール

Concert Hall — コンサートホール —

客席数／1,999席

本格的な音楽専門ホール。オーブンステージで、120
名編成のオーケストラと200名の合唱団が同時に演
奏できる広さ。舞台正面に備えつけられた、3つ
の時代の音楽を弾き分けることができる
パイプオルガンを見せたまま
演奏会ができます。

Others
— その他施設 —

リハーサルルーム
シンフォニススペース
ミーティングルーム

オーケストラ、室内楽、合唱、舞踊、ダンス、演劇等の練習に
適したリハーサルルーム。オーケストラ、室内楽の練習他、会
議でも使用可能なシンフォニススペース。会議、研修、講演
会等に適したミーティングルーム。目的に合わせ、様々な用
途でご利用頂けます。

B1F 汎用性の高い固定舞台

Theatre West — シアターウエスト —

客席数257席(最大)

間口9m、奥行き5.2m。舞台は汎用性の高い固定式
に。可動式の袖パネルがあり、迫り機構を使ってス
ラストステージや脇さじきも作ることができ、
幅広い演出が可能に。

Atrium — アトリウム —

劇場入口の広い空間は様々な
ショップや飲食店が並ぶ憩い
の空間。
同時に多様な催しが行われるイ
ベント広場でもあります。

Atelier・Gallery — アトリエ・ギャラリー —

絵画、写真、書などの美術作品
や様々な創造活動のための展
示スペース。ギャラリー2として
スペースがひとつ増設され、発
信のチャンスが広がりました。



山本雅人 Masato Yamamoto
松田平田設計、第二建築設計部
主任。全体のまとめと意匠設計、
材料・色・形などを決めている。
全体の設計から監理まで担当。

長谷川祥久 Satio Hasegawa
香山壽夫建築研究所、設計主任。
主にアトリウムやプレイハウス、
シアターイースト、シアターウエ
ストの内装、ホール機能の担当。

私たちが
案内します!!

快適で心地よい空間へ

上質な音に包まれる、

Concert Hall

— コンサートホール —

1,999席を擁する、東京芸術劇場最大のホール。
音の響きから劇場の雰囲気まで、
演奏者にも観客にも心地よい空間を目指して生まれ変わった。
上質な音に包まれる、贅沢なひとときを——。

それでもう一つ、長時間の演奏を楽しむために大切な椅子。クッション部分はもちろん、肘掛けもナチュラルな木調に取り替えられている。暖色系の赤ベースで統一された客席は落ち着きを増し、よりリラックスした環境で演奏が楽しめそう。

今回の改修では、演奏者や観客の声も多に取り入れられているという。例えばステージからの眺め。客席奥からステージに向かって三角状に突き出ている部分は、圧迫感があるという演奏者からの声を反映し、綺麗に削り取られた。客席奥の壁も無機質なステンレスから木の素材に替えられ、劇場全体に一体感と温かさが生まれ、より心地よい演奏空間へと生まれ変わった。また、冷たい印象を与えていた石の大壁面は、石の光沢を抑えるとともに木リブが加えられ、温かみのある落ち着いた雰囲気に印象を変えている。ステージから、客席から、それぞれの目線でよりよい空間へと変貌を遂げたコンサートホール。劇場の代名詞でもあるパイプオルガンは、大規模な分解と点検、清掃が引き続き行われているため、来年3月にお披露目予定。一台で異なる時代の音楽を弾き分ける、世界で唯一のパイプオルガンの音色を心待ちにしながら、より快適で上質な空間へと生まれ変わったこの場所で、一足先に贅沢な音に酔いたい。

突き出していたコンクリートの鋭角部分がなくなり、ステージから客席を見た時の圧迫感はすっかり解消。客席との一体感を感じながらの演奏に、いい音が生まれる予感！



この棒状のリブがポイント！つるつとした壁面では鋭い音の反射になるところ、リブを入れることにより客席に跳ね返る音が柔らくなる。音の違いをぜひ感じてみて。



3階席に朗報！これまでは階段を利用するしかなかったのが、今回のリニューアルで利便性がぐんとアップ。ホールのエントランスから2階、3階席へのエレベーターが新設された。

Playhouse

— プレイハウス —

「席はどこからも見やすく。多様なニーズに対応するバラエティに富んだ劇場に」
野田芸術監督の想いが詰まったプレイハウスは、機能も自由度も格段にアップ。
枠にとらわれることのない「創造発信型劇場」に
相応しい空間が誕生した。

入口からロビー、客席、ステージに至るまで、全く新しい顔に生まれ変わった中ホール。新設されたモダンな門をくぐると、落ち着いた茶系のトーンで統一された心地よいロビー空間が待っている。年月を経て人の痕跡がしみ込んだ石畳を思わせるカーベットは、ここが「人が集う場」であることを演出しているよう。期待を胸に劇場に足を踏み入れると、そのあまりの変貌ぶりに驚く。人が集まった時にいかに熱気を、エネルギーを高められるかを考え辿り着いた答えは、「人で囲む」。そのイメージをもとに、舞台を囲むように配置された客席は、正面、サイド、立ち見用のスペースまで設けられ、バラエティ豊かな席で観客を迎え入れる。サイドバルコニーは、客席としての他、照明基地や舞台としても使用でき、また、左右の壁に設置されたキャットウォークも、照明、演出スペースとしての他、舞台としても使えるようになっている。完成後の劇場を見た野田芸術監督もこれには大満足。自由度の高い舞台設計により、創り手の想像力をも刺激する空間になったようだ。機能面での様々な改善に加え、劇場の印象もこれまでとは一新されている。むき出しのコンクリート壁とレンガがその印象を大きく変えているのだが、これは装飾ではなく、音響効果に大きな役割を果たしているという。レンガをすべて積み上げるのではなく不規則な形に積むことで、客席サイドの壁は

音を拡散させ、隙間をあけて積むことで客席奥の壁は音を吸収する仕組みに。また、フロントサイドの壁の形状を変えることにより、音の回り（ステージからの音が円形の客席を回ってステージに戻ること）が大幅に改善された。これにより音響効果が向上し、演技手にとっても観客にとってもよりよい舞台環境となった。今回の改修で一役買ったレンガ壁は、職人一人ひとりの手作業により仕上げられたもの。不要なものを剥ぎ取って、裸の状態から必要なものだけを足していく。改修だからこそできるこのデザイン、レンガの下に覗く元の壁が何ともいい雰囲気を醸し出している。思わず触れたいくなるような質感と、ここが自由な表現の場であることを象徴するかのような、型にとらわれないデザイン。数々の劇場を見てきたが、空の劇場にこんなにワクワクしたのは久しぶりだ。リニューアルオープン後は早速注目のラインナップが目白押し。生まれ変わった劇場でどんな体験が待っているのか、期待せずにはいられない！

音響効果の改善と劇場のイメージ作り、歴史を感じさせるレンガが2つの役割を果たしている。コンクリート壁と、ところどころ抜けていたり隙間が空いている無造作に見えるレンガの積み方も、音の拡散や吸収を緻密に計算してのもの！



客席は一行ごとに座高が変えられ、どの席からも観やすいよう目線の位置が調整されている。1階席と2階席の高低差を減らし、左右ブロックの客席を一段上げたサイド席は空間に一体感を作った。

機能性と自由度を追究した2つの空間

左にシアターイースト、右にシアターウエスト。隣同士に並ぶ2つの劇場では、それぞれの特徴を活かした改修が行われた。
フラットな空間が印象的なシアターイースト。「黒い箱で色々なことができるびっくり箱」という元々のコンセプトに忠実に、シンプルで使いやすい形に見直された。深さ2mの奈落に、自由に組み立てられる床システムを入れ、さらにその上に組立客席床をのせたことで、舞台や客席のレベルも自由に動かせるように。作品ごとに表情を変える空間に、劇場を訪れる楽しみも増えそうだ。

Theatre East — シアターイースト —

4つの劇場を臨む、開放感溢れる玄関口

一歩足を踏み入れた瞬間から始まる特別な時間。劇場の第一印象を担う玄関口は、東京芸術劇場を象徴する魅力的な空間へと生まれ変わった。
1つ目のポイントは劇場の「顔」。4つの劇場が縦に積み重なっている建物全体の特徴を活かし、コンサートホール、プレイハウス、シアターイースト、シアターウエスト、4つ全てのエントランスが一望できるよう改修された。初めて訪れる人にも分かりやすく、アトリウムから劇場までの道のりにも期待が高まりそう。
2つ目は、ひと際存在感を放っていたエスカレーター。5階のコンサートホールまで一直線でつながっていたエスカレーターを乗り継ぎ式にし、吹き抜けの大空間を有効活用できるよう壁側に移動。安全性の向上を図るとともに圧迫感を軽減した。他にもこの場所でのイベント開催を想定した設備が整えられ、劇場の入口としてのみならず、全ての人にオープンな表現の場としての準備も万全に！まさに出逢いと交流の場に相応しい場所になりそうだ。

Atrium — アトリウム —

全面ガラス張りの壁には、目隠しを兼ねた美しい装飾が、こだわりのデザインと木の素材感が、心地よい空間を演出している。

今回新設されたボックスオフィス。チケットの購入ができる他、総合案内カウンターとしての役割も担っている。

シアターウエストでは、舞台の奥行きを広げた他、天井部分に演出用のスペース(キャットウォーク)が増設され、より幅広い作品に対応できるよう舞台設備が整えられた。こちらにも組立客席床を導入し、客席レイアウトにもバリエーションを生み出した。
劇場前のロワー広場では、誰でも無料で楽しめるイベントが行われる予定。若い世代の表現者にとっては新たな表現の場に、劇場に足を踏み入れたことのない人たちにとっては、気軽に舞台芸術に触れることができる出逢いの場となりそうだ。

Theatre West — シアターウエスト —

設計者の長谷川さんが開発した座り心地抜群の椅子。快適な舞台鑑賞に役買うこと間違いなし！

人が集い、何かが生まれる 「創造発信型劇場」へ

山本雅人×長谷川祥久 設計者対談



— まず今回の改修の経緯を教えてください。

山本：2008年の夏に設計者の選定が行われ、翌年改修内容を決める基本設計がスタートしました。私たちの他に、音響、舞台設備関係、構造設計、照明デザインの専門家が集まり、チームを組み、東京都や劇場の意向を汲み取りながら進めていきました。昨年4月から実際に工事を行い、遂に

完成を迎えました。

長谷川：今回の改修は、単に必要に迫られただけでなく、東京芸術劇場の「一歩前へ」という意思に基づいて、目指す劇場に生まれ変わるためのものだと思うんです。これまで貸し劇場として機能してきたけれど、これからは自分たちも自主的に物を創り、文化を発信していく。そのため

に今まで何が足りなかったのか、どう変わるべきかを考え抜いた結果です。

— 改修にあたって、芸術監督・野田さんからのリクエストは？

長谷川：まず最初におっしゃったのが、見えにくい席がないようにしたいということ。そして、よく見えることはとても大事だけど、色んな席があつていい。正面を向いた席だけでなく、脇から見ている席があつたり立ち見席があつたり、色んな形で人が見えているというのは楽しいよねっていう、つまりバラエティがある客席にしたいと。

山本：色々な人に観に来てほしいってことでしょね。

長谷川：それから、野田さんが舞台上で感じていた音の違和感の改善。この3つがリクエストでした。

— 劇場を設計する上で、大切なことは何でしょうか。

山本：観に来る人と演じる人、両方の視点を大切にしながら設計します。観客の視点で考えた時には、いつもとは違う特別な環境に足を踏み入れるわけですから、日常との境界線を作り、雰囲気を変えてあげることが大事だと思います。逆に、演じる人たちにとっては、全てをこちらで用意するのがいいとは限らない。一般的な建物の場合は設計者側から提案することが多いのですが、劇場の場合、特に今回のような改修では、こう使っていきたい、こんなことをやっていきたいという使い手の意向を受け入れて、アレンジして作っていくというやり方ですね。

長谷川：人はなぜ劇場に来るのか。例えばいい音楽を聴きたいなら家の中で

劇場でしか体験も聴けるし、お金があれば自宅に役者を招くこともできるかもしれない。出来ない感動があるけど、そこで得られる感動と劇場で体験するものは全く違うんだと思います。人が集まるということが喜びに変わる空間を作るにはどうしたらいいか、それを考えます。

大道芸でも何もない広いところでやる場合、人はなぜか円陣を組みます。囲むことでエネルギーが集まり、空間ができ上がっていく。それを建築でサポートすることができれば、そこに劇場を設計する意味があるのかなと思います。

— 今回の改修のこだわりやポイントは？

長谷川：改修というのは、元々ある建物のよさを活かすということです。例えば、この劇場はそれぞれのホールが縦に積み上げられ、シンメトリーに並んでいる。劇場の中心線を共有して、整然と積み上げられたトーテムポールのような構成に、アトリウムという顔がついているのが面白いところです。アトリウムに立った時に、各階の劇場の顔が見えるようにすることで、この建物の特徴を表現しました。

それから、お客さんが長い時間いられる空間になればいいなと思っています。ロビーでもホールでも、どの場所にいても今までよりそこに長く留まっていられること。人が集まるということも含めて、人間が何を快適と感じるか、居心地のよさというのは意識しましたね。

— その仕掛けはどのあたりにあるのでしょうか。

長谷川：自然界に存在しない色はあまり使わず、ナチュラルな素材感で作ったりとか。

山本：以前のアトリウムは、白やブルー、グリーンなどを基調としていて、劇場に隣接する池袋西口公園との一体感がありました。今回はそれを切り離し、劇場という日常とは違う空間を感じることで、来た人がゆっくりそこにいられる。今までとは違う世界に、変身させる。たんです。改修ということで色々制約もありましたが、元の建物がある中で今までとは違う世界を作り上げていって、まさに「変身」させられればいいですね。

— 改修を終えてみていかがですか？

山本：手を加えることによって、もちろんよりよくなったと信じています。ただ、いざオープンして使われた時に、どういう反応が来てくるのかというのは実はドキドキしています。チケットを買って観に来てくださるお客さんや、そこで演じる役者さんや演奏する方たちが何と云うか。今は「ハコはできました。あとは使ってみてどうか」っていうところですね。

長谷川：これまで東京芸術劇場に何度も来ていた人が、「あ、ここってこんな空間だったんだ。こんなにいい場所だったんだ」と思ってくれたらいいなと。「変わったね」というよりは、元々あった空間のよさを再発見してくれたら嬉しいです。



祝祭のステージへ―― 役者は揃った

さあいよいよだ。9月1日。秋の音楽シーズン開幕を高らかに、誇らしげに告げる祝祭のステージが近づいてきた。
常に高みを目指すマエストロが気宇壮大なシンフォニーに挑む。
創立50周年の記念事業も好評の東京のメジャー・オーケストラも晴れの場には必要だ。

優れたオーケストラ芸術とともに歩んできた東京芸術劇場コンサートホール(新呼称!)のリニューアルオープンに、これほど相応しい音楽はない。

世紀転換期を彩ったグスタフ・マーラー(1860~1911)の交響曲第2番「復活」! ドイツの詩人フリードリヒ・ゴットリーブ・クロプシュツク(1724~1803)の賛歌「復活」を最終第5楽章に載く、巧緻にして壮麗な傑作である。マーラーはクロプシュツクの詩に自らの言葉も追加した。1895年のベルリンでの初演以来、推敲(すいこう)にも余念がなかった。「現世」と「彼岸」への眼差しという二元的なプログラムをもったこの劇的な交響曲。声楽(アルト及びソプラノ独唱、混声合唱)はもちろんのこと、パイプオルガンの響きも胸をうつ。

ベートーヴェンの交響曲第9番を意識したマーラーがここにいる。ホールの落成・開幕の定番が<第9>なら、新たな出発を祝うのは「復活」だ。実際、1990年秋の東京芸術劇場オープンを告げたのは若杉弘指揮東京都交響楽団による<第9>だった。ワーグナーの「タンホイザー」から歌の殿堂を祝う音楽も響いた。

あれから20余年。リニューアルオープンのタクトは、読売日響の初代正指揮者・下野竜也(1969年生まれ)に引き継がれる。正指揮者着任から早6年。数々のプロデュース企画でファンを魅了し、近年はベートーヴェン、シューマン、ブルックナーの交響曲も好評の我らがマエストロ。機は熟したと言うべきだろう。

実現する。下野竜也が満を持して披露するマーラーの交響曲第2番「復活」は、新たな扉を開ける東京芸術劇場コンサートホールはもとより、オーケストラ、声楽陣、ファンのすべてにとって「マストアイテム」なのだ。ソリストに人を得た。東京芸術劇場シアターオペラ「イリス」で抜群のステージプレゼンスを見せたソプラノの小川里美が華を添えるのだ。

奥田佳道 Yoshimichi Okuda 音楽評論家

東京生まれ。ヴァイオリンを学ぶ。ドイツ文学、西洋音楽史を専攻。ウィーンに留学。これまでに、くらしき作陽大学講師を務めた。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ!」ほか。日本テレビ「深夜の音楽会」(現:読響シンフォニックライブ)などに出演。多彩な執筆、プロデュース活動のほか、

この夏、小川はマーラーの交響曲第8番「千人の交響曲」を歌った。いっぽう「復活」の第4楽章<原光>を任されたのはメゾ・ソプラノの清水華澄。彼女、今年だけで「ナブッコ」「オテロ」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「アイダ」「ヘンゼルとグレーテル」を歌い、11月にはライマンの歌劇「メデア」で下野竜也とも顔を合わせる。

池袋を「地元」とする東京音楽大学のコーラスも、きっと客席の喜びとなる。好評さくさくの下野竜也と読売日響のもとに、今どきの役者が顔を揃えたというべきだろう。

10月上旬のラインナップに心躍らせたファンも少なくない。55年以上のキャリアを誇るロシアの巨匠ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー(1931年生まれ)で聴く<チャイコフスキー後期交響曲チクルス>! 烈しい情熱も哀しみもお任せあれの交響曲第4番(1877~78)、第5番(1888)、第6番「悲愴」(1893)を柱に、不動の人気を誇るピアノ協奏曲第1番(1874~75)、ヴァイオリン協奏曲(1878)、それに幻想序曲「ロメオとジュリエット」と「イタリヤ奇想曲」を織り交ぜた、もう怖いものなしのチャイコフスキー傑作選。3日連続のマチネー公演、もうそれ自体フェスティバルの趣だ。読売日響の名誉指揮者ロジェストヴェンスキーが、チャイコフスキー・チクルスに腕を振るうのは約20年ぶりとなる。

この人、長めのタクトを魔術のごとく自在に操り、眼前のオーケストラから妖艶かつ即興的な響きを紡ぐ。指揮台は使わない。誤解を恐れずに申せば、指揮の立ち居振る舞いを見て、こんなに面白い人は、いない。超絶技巧もユーモアも満載なのだ。

ピアノ協奏曲を弾くのは愛妻ヴィクトリア・ポストニコワ。曲が何であれ、才人ロジェストヴェンスキーが指揮するピアノ・コンチェルトのソリストは、練達の彼女と決まっている。愛息サーシャ・ロジェンストヴェンスキーも両親と世界を旅する。つまりこのプロジェクト、名門音楽一家による「響宴」でもあるのだ。ちなみにロジェストヴェンスキー自身、オボーリン門下でピアノが上手い。父もロシア演奏史に名を刻む名指揮者だ。今年81歳のロジェストヴェンスキーと「50歳」になった読売日響が織り成す究極のロシアン・ロマンを心ゆくまで。

NHK・FM「オペラ・ファンタスティカ」などに出演中。NHK音楽祭のプレコンサートトークも行なっている。北九州国際音楽祭ミュージック・アドヴァイザー。

装いも新たに生まれ変わった
コンサートホール、いよいよお披露目!!

コンサートホール リニューアルオープン記念演奏会

下野竜也&読売日本交響楽団
マーラー交響曲 第2番「復活」

9月1日[土] 15:00開演(14:00ロビー開場)

東京芸術劇場がいよいよリニューアルオープン!

“音出し”公演は事業提携を行う読響とその正指揮者・下野竜也によるマーラー交響曲第2番「復活」!コンサートホールと名称も一新した大ホールは、5階ホール入口のホワイエから客席に至るまで全面リノベーションを行いました。旧来のイメージを一新した“芸劇 コンサートホール”いよいよ始動です。

ロシア音楽の神髄に
巨匠が迫る!

東京芸術劇場リニューアル記念
G.ロジェストヴェンスキー & 読売日本交響楽団
チャイコフスキー後期交響曲チクルス

読売日本交響楽団とその名誉指揮者であるロシア最後の巨匠、ゲンナジー・ロジェストヴェンスキーによる 20年ぶりとなる至高のチャイコフスキー後期交響曲連続演奏会。東京芸術劇場コンサートホールのリニューアルを記念してついに実現!

チケット料金 (全席指定)	【セット券】S席:18,000円/A席:15,000円/B席:12,000円
	【1回券】S席:6,800円/A席:5,800円/B席:4,500円
	C席:3,000円/D席:2,000円 ※未就学児入場不可

新たな歴史を刻む、
インバル芸術の集大成!

東京芸術劇場リニューアル記念
インバル=東京都交響楽団
新マーラー・ツィクルス



エリアフ・インバル



上原彩子

1990年、芸劇オープニング時に行われ、大きな話題となったシノーポリとフィルハーモニア管弦楽団によるマーラー・ツィクルスは、そのブームといえる流れの中で

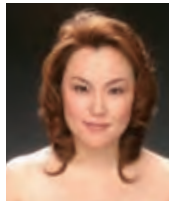
も特に印象的な演奏会としてコンサートゴアアーの記憶に強く残っている。現代最高のマーラー指揮者、インバルと東京都交響楽団による至高の“新マーラー・ツィクルス”でその真価を問う!



下野竜也



小川里美



清水華澄

【出演】指揮:下野竜也 ソプラノ:小川里美 メゾソプラノ:清水華澄
合唱:東京音楽大学 管弦楽:読売日本交響楽団
【曲目】マーラー/交響曲 第2番「復活」

チケット料金 (全席指定)	S席:6,000円/A席:5,000円/B席:4,000円	※未就学児入場不可
	C席:3,000円/D席:2,000円	

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

10月6日[土] 15:00開演(14:00ロビー開場)

【出演】指揮:ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー ピアノ:ヴィクトリア・ポストニコワ
管弦楽:読売日本交響楽団
【曲目】チャイコフスキー/ピアノ協奏曲 第1番、交響曲 第4番

10月7日[日] 15:00開演(14:00ロビー開場)

【出演】指揮:ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー 管弦楽:読売日本交響楽団
【曲目】チャイコフスキー/幻想序曲「ロメオとジュリエット」
イタリヤ奇想曲、交響曲 第5番

10月8日[月・祝] 15:00開演(14:00ロビー開場)

【出演】指揮:ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー
ヴァイオリン:サーシャ・ロジェストヴェンスキー
管弦楽:読売日本交響楽団
【曲目】チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲
交響曲 第6番「悲愴」



ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

ツィクルスⅠ 9月15日[土] 14:00開演(13:00ロビー開場)

【出演】指揮:エリアフ・インバル ピアノ:上原彩子 管弦楽:東京都交響楽団
【曲目】ベートーヴェン/ピアノ協奏曲 第2番 マーラー/交響曲 第1番「巨人」

ツィクルスⅡ 9月29日[土] 14:00開演(13:20開場)

※東京都交響楽団「作曲家の肖像」シリーズ vol.88

【出演】指揮:エリアフ・インバル ソプラノ:澤畑恵美 メゾソプラノ:竹本節子
合唱:二期会合唱団 管弦楽:東京都交響楽団
【曲目】マーラー/交響曲 第2番「復活」

ツィクルスⅢ 10月28日[日] 14:00開演(13:20開場)

※東京都交響楽団「作曲家の肖像」シリーズ vol.89

【出演】指揮:エリアフ・インバル メゾソプラノ:池田香織 女声合唱:二期会合唱団
児童合唱:東京少年少女合唱隊 管弦楽:東京都交響楽団
【曲目】マーラー/交響曲 第3番

チケット料金(全席指定)	※未就学児入場不可	
	I S席:6,500円/A席:5,500円/B席:4,000円/C席:3,000円/D席:2,000円	II S席:7,500円/A席:6,500円/B席:5,500円/C席:4,500円/Ex席:2,800円 III S席:7,500円/A席:6,500円/B席:5,500円/C席:4,500円/Ex席:2,800円
	II S席:7,500円/A席:6,500円/B席:5,500円/C席:4,500円/Ex席:2,800円	

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)(9/15)
公益財団法人東京都交響楽団(9/29、10/28)

NODA・MAP 第17回公演 **エッグ**

9月5日[水]～10月28日[日] 【会場】プレイハウス

前世紀、大衆の欲望と熱狂は、スポーツと音楽のかたちをして現れた！フル回転の言葉と身体で割れた卵から、新しい演劇の歴史が生まれる！“エッグ＝卵”とは何か。世界か、歴史か、人間か、演劇か、それとも…。客席を熱狂の渦に巻き込む3人の主人公。自由奔放なアスリートを演じる妻夫木聡、ストイックなベテラン選手に仲村トオル。深津絵里がシンガーソングライターを演じ、歌う！

また、野田からのラブコールで椎名林檎が劇中歌を担当！

作詞：野田秀樹、作曲：椎名林檎、歌：深津絵里！

こんな贅沢な歌は、この舞台上にしか存在しない。作り手すらも想像がつかない、変幻自在、驚きのコラボレーション。ここにしかない出会い、

20世紀が残した最後の殻を破る、
野田秀樹作・演出の最新作。



ここにしかない表現、ここにしかない体験!!2012年9月、あなたの目の前に観たことのない世界が広がる！

◆＝視覚障がい者のための「舞台説明会」、聴覚障がい者のための「ボータブル字幕機提供」を実施します（要予約）。詳細はHPもしくはお問合せください。
★＝ビデオ撮影のため、場内にカメラが入ります。

【お問合せ】NODA・MAP 03-6802-6681

主催：企画・製作：NODA・MAP 共催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

チケットのお問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010（休館日を除く、10:00～19:00）

eyes plus

柿喰う客 **無差別**

9月14日[金]～24日[月] 【会場】シアターイースト

人気若手劇団として注目を浴び続ける『柿喰う客』が、一年半ぶりの新作を引っさげ、eyes plusとして芸劇に帰ってきます。

最新作『無差別』は、日本の戦中・戦後の思想的転換を題材に、人間＜テクノロジー＞と神＜自然＞との共存や調和を描く意欲作です。

作中に登場するのは人と神、そして獣たち。

虐げられながらも力強く生き抜く者たちの姿から「生命」という壮大なテーマに深く切り込みます。

独特の身体パフォーマンスやリズムカルな台詞まわしは今作でも健在。

観客を“圧倒的なフィクション”の世界に誘います。

劇団結成7年目の彼らが、劇団メンバー7名の総出演で生み出す



1年半ぶりの劇団本公演は
メンバーのみの濃密
《柿》ワールド炸裂！

濃密なく柿＞ワールド！

ぜひ劇場でご堪能ください！

【作・演出】中屋敷法仁		【前売】アリーナ7：4,800円（各回限定7席、前売のみ、劇団のみ取扱い）	
		一般：3,800円／初日割引：3,500円／平日昼間割引：3,500円／乱痴気公演：3,800円	
チケット料金（全席指定・税込）		【全ステージ共通割引】敬老（60歳以上）：3,500円／学生：2,000円／高校生以下：1,000円（当日受付にて要身分証提示）	
		【当日】各前売より500円UP	

【お問合せ】柿喰う客 080-6801-7389（劇団） info@kaki-kuu-kyaku.com

9月	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
14:00		●	●	●			昼		●	●	昼
18:00				●	休			●	●		
19:30	初				●	乱	●				

初＝初日割引 昼＝平日昼間割引 乱＝乱痴気公演

主催：柿喰う客 提携：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

東京芸術劇場リニューアル記念
TACT/FESTIVAL 2012
ジャック・オペラ
ショックヘッド・ピーター
～よいこのえほん～

9月1日[土]～9日[日] 【会場】シアターイースト

例年7月～8月にかけて、日本各地を巡回する形で実施してきたTACT/FESTIVAL。今年は芸劇リニューアル・オープンに合わせ、野田秀樹芸術監督が親子で楽しめる作品をセレクトしたスペシャルバージョンとして開催します。「ショックヘッド・ピーター～よいこのえほん～」は、イギリスで1998年にUK/パンクバンド「タイガー・リリーズ」等が初演し世界ツアーで大ヒットしたミュージカル「Shockheaded Peter（ショックヘッド・ピーター）」を、2009年に、劇団オルケーニが大胆にハンガリー語バージョンにアレンジした意欲作！原作はドイツの精神分析医ハインリヒ・ホフマンが1845年に発表した世界的ベスト

シュールなブラック・ユーモア
満載のミュージカルが、
東欧ハンガリーから芸劇へ！

セラー絵本「もじゃもじゃベーター」。主人公たちが悪い行いを改めないせいで、悲惨な目に遭うというブラックな寓話が満載のこの絵本は、“怖いけどやみつき”になってしまう強烈なインパクトで世界中のこどもを魅了(?)し続けています。ハンガリー語バージョンの舞台をひっさげて、芸劇が注目する気鋭の劇団がいよいよ初来日します！



【作】ジュリアン・クラウチ／フィリム・マクダーモット／タイガー・リリーズ（音楽）	
【ハンガリー語版翻案】バルティ・ナジュ・ラヨシュ 【ハンガリー語版演出】アシェル・タマーシュ 【出演】劇団オルケーニ（ハンガリー）	
【前売】一般：4,000円／こども（高校生以下）：1,000円／親子セット券：4,500円（高校生以下対象）／	
チケット料金（全席指定・税込） 65歳以上：3,000円／25歳以下：2,500円	
【当日】一般：4,500円／こども（高校生以下）：1,000円／親子セット券：5,000円（高校生以下対象）	

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	土	日	月	火	水	木	金	土	日
12:00									●
14:00						●		●	
15:00		★	休						
18:00	★					●		●	
18:30				★	★		●		

★＝上演45分前より、TACT/FESTIVAL 2012「うつし」（観覧無料）をご覧いただけます。

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）
東京都／東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）

東京芸術劇場リニューアル記念
東京福袋

9月2日[日]～9日[日] 【会場】シアターウエスト

東京のクールでビビッドな舞台表現が楽しめる＜パフォーマンス＞袋、作家本人による自作朗読を通して、作品のさらなる魅力が発見できる＜リーディング＞袋、古き良き日本のエンターテインメント＜演芸＞袋を揃えました。どこをとっても満足間違いなし、一夜限りの芸劇珠玉のラインナップ。どうぞご期待ください！

チケット料金（全席指定・税込）	【前売】一般：3,000円／高校生割引：1,000円（枚数限定、要学生証提示）
	【当日】一般：3,500円

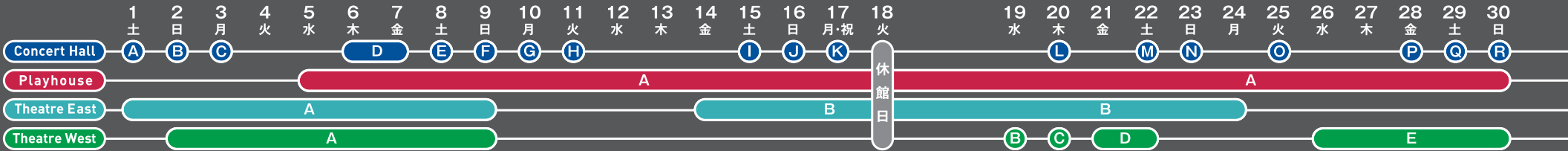
＜パフォーマンス＞袋	
2日[日] 17:00～	昨日の祝賀会、酒井幸菜、鉄割アルバトロスケット、中野成樹＋フランケズ
3日[月] 19:00～	柿喰う客、劇団コブス（カナダ）、東京デスロック、珍しいキノコ舞踊団
4日[火] 19:00～	アマヤドリ、表現・さわやか、富士山アネット、モモンガ・コンプレックス
5日[水] 19:00～	近藤良平、3軒茶屋婦人会、吹越満、山田広野
6日[木] 19:00～	田上ハル、範宙遊泳、モダンスイマーズ、ロロ
7日[金] 19:00～	サスペンデッツ、ジェン社、DAZZLE、はえぎわ
＜リーディング＞袋	
8日[土] 【芸劇＋トーク・作家リーディング『自作自演』】	
14:00～	前田司郎×町田康／19:00～ 西村賢太×本谷有希子

＜演芸＞袋	
9日[日] 17:00～	東 京 太・ゆめ子、三遊亭小遊三、春風亭小柳枝、瀧川鯉昇

（50音順・出演順不同）

【お問合せ】東京芸術劇場事業企画課 03-5391-2115

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）
東京都／東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）／豊島区



Concert Hall

A 1日[土] 15:00開演(14:00開場)
リニューアルオープン記念演奏会
マーラー交響曲第2番「復活」
出演 下野竜也(Cond)／小川里美(Sop)／清水華澄(Ms)／東京音楽大学(合唱)／読売日本交響楽団
曲目 マーラー／交響曲第2番「復活」
料金 S:6,000円／A:5,000円／B:4,000円／C:3,000円／D:2,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

B 2日[日] 14:00開演(13:00開場)
フレッシュ名曲コンサート
宮本文昭指揮 東京交響楽団 with 近藤嘉宏
出演 宮本文昭(Cond)／近藤嘉宏(Pf)／篠原拓也(Ob)／東京交響楽団
曲目 ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番
モーツァルト／オーボエ協奏曲
スメタナ／連作交響詩「わが祖国」より<モルダウ> ほか
料金 S:4,500円／A:4,000円／B:3,000円／C:2,000円
TEL としまらいチケットセンター 03-3590-5321

C 3日[月] 19:00開演(18:00開場)
服部和彦 作曲展
出演 齋藤純一郎(Cond)／菅井京子(Vn)／東京フロンティアオーケストラ ほか
曲目 服部和彦／カンオペア〜ヴァイオリンと弦楽オーケストラのための協奏曲〜【初演】 ほか
料金 4,000円
TEL JILAチケットセンター 03-3356-4140

Playhouse



A 5日[水]~10月28日[日]
NODA-MAP 第17回公演 **エッグ**
作・演出 野田秀樹
音楽 椎名林檎
出演 妻夫木聡、深津絵里、仲村トオル、秋山菜津子、大倉孝二、藤井隆、野田秀樹、橋爪功
料金 S席:9,500円／A席:7,500円
サイドシート:5,500円(25歳以下3,000円 要身分証提示)
全ステージ当日券あり
TEL NODA-MAP 03-6802-6681



Theatre East



A 1日[土]~9日[日]
東京芸術劇場リニューアル記念
TACT/FESTIVAL 2012 ジャンク・オペラ
ショックヘッド・ピーター
〜よいこのえほん〜
作 ジュリアン・クラウチ／フィリム・マクダーモット／タイガー・リリーズ(音楽)
ハンガリー語翻訳 バルティ・ナジュ・ラヨシュ
ハンガリー語版演出 アシェル・タマーシュ
出演 劇団オルケーニ(ハンガリー)
料金 【前売】一般:4,000円
子ども(高校生以下):1,000円
親子セット券:4,500円(高校生以下対象)
65歳以上:3,000円／25歳以下:2,500円
【当日】一般:4,500円
子ども(高校生以下):1,000円
親子セット券:5,000円(高校生以下対象)
TEL 【公演について】東京芸術劇場事業企画課 03-5391-2115(平日9:00~17:45)
【チケットについて】東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010(休館日を除く、10:00~19:00)

9月	1土	2日	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9日
12:00									●
14:00						●		●	
15:00	★	休演							
18:00	★					●		●	
18:30			★	★		●			

★=開演45分前より、TACT/FESTIVAL 2012「ひつじ」(観覧無料)をご覧いただけます。

Theatre West



A 2日[日]~9日[日]
東京芸術劇場リニューアル記念
東京福袋
料金 【前売】一般:3,000円／高校生割引:1,000円(枚数限定、要学生証提示)
【当日】一般:3,500円
TEL 【公演について】東京芸術劇場事業企画課 03-5391-2115(平日9:00~17:45)
【チケットについて】東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010(休館日を除く、10:00~19:00)

〈パフォーマンス〉袋
2日[日] 17:00~ 昨日の祝賀会、酒井幸菜、鉄割アルバトロスケット、中野成樹+フランケンズ
3日[月] 19:00~ 柿喰う客、劇団コープス(カナダ)、東京デスロック、珍しいキノコ舞踏団
4日[火] 19:00~ アマヤドリ、表現・さわやか、富士山アネット、モモンガ・コンプレックス
5日[水] 19:00~ 近藤良平、3軒茶屋婦人会、吹越満、山田広野
6日[木] 19:00~ 田上ハル、範宙遊泳、モダンスイマーズ、ロロ
7日[金] 19:00~ サスペンデッツ、ジエン社、DAZZLE、はえぎわ
〈リーディング〉袋
8日[土] 【芸劇+トーク・作家リーディング『自作自演』】
14:00~ 前田司郎×町田康／**19:00~** 西村賢太×本谷有希子
〈演芸〉袋
9日[日] 17:00~ 東 京太・ゆめ子、三遊亭小遊三、春風亭小柳枝、瀧川鯉昇 (50音順・出演順不同)

K 17日[月・祝] 14:00開演(13:00開場)
郡司博プロデュース
郡愛子リサイタル
出演 郡愛子(Ms)／松本康子、小林牧子(Pf)／中島ゆみ子(Vn)／田中黎山(尺八)
曲目 シューマン／女の愛と生涯 ほか
料金 S:5,000円／A:4,000円／B:3,000円／70歳以上は各1,000円引き
TEL おんがくの共同作業場 042-522-3943

L 20日[木] 14:00開演(13:00開場)
クラブツーリズム貸切公演
高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト
出演 高嶋ちさ子(Vn)／安宅薫(Pf)／12人のヴァイオリニスト
料金 SS:6,500円／S:6,000円／A:5,000円
TEL クラブツーリズム株式会社クラブ開発センター 03-5323-6799

M 22日[土] 15:00開演(14:00開場)
片倉 in 芸劇!! 東京都立片倉高等学校吹奏楽部
全日本吹奏楽コンクール三年連続出場記念コンサート
出演 馬場正英(Cond)／東京都立片倉高等学校吹奏楽部
曲目 K.フサ／プラハ1968のための音楽
藤田玄播／復活への道〜東北大災害のためのレクイエム ほか
料金 S:1,500円／A:1,000円／B:800円
TEL やまももの会 080-6554-7772

N 23日[日] 14:00開演(13:00開場)
豊島区制施行80周年記念／第23回としま区民芸術祭
豊島区吹奏楽団 第36回定期演奏会
出演 大釜宏之(Cond)／豊島区吹奏楽団
曲目 A.リード／アルメニアン・ダンス ほか
料金 一般:800円／高校生以下:500円／友の会:500円
TEL としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

O 25日[火] Closed
第35回 音楽祭
関係者のみ

P 28日[金] 19:00開演(18:00開場)
陸上自衛隊東部方面音楽隊
第58回定期演奏会
出演 3等陸佐 田村守(Cond)／陸上自衛隊東部方面音楽隊 無料
曲目 R.コルサコフ(山口浩志)／交響組曲「シェラザード」(全曲) ほか
料金 無料(往復はがきでの事前申し込み)
TEL 東部方面音楽隊演奏会係 048-460-1711、内線3784

Q 29日[土] 14:00開演(13:20開場)
インバル=都響 [新] マーラー・ツィクルスⅡ
「作曲家の肖像」シリーズvol.88
出演 エリアフ・インバル(Cond)／澤畑恵美(Sop)／竹本節子(Ms)／二期会合唱団／東京都交響楽団
曲目 マーラー／交響曲第2番「復活」
料金 ※全席完売
TEL 都響ガイド 03-3822-0727

R 30日[日] 14:30開演(13:30開場)
東京ニューシティ管弦楽団
第83回定期演奏会【シリーズB】
出演 スティーブン・マーキュリオ(Cond)／ベン・キム(Pf)／東京ニューシティ管弦楽団
曲目 ガーシェウイン／ラブソディ・イン・ブルー
カーペンター／「摩天楼」 ほか
料金 S:6,000円／A:4,500円／B:3,000円／C:2,000円／R席(リラックスシート):3,000円／学生:半額(S除く)／小中高生:1,000円(S除く、保護者同伴)／シニア:10%引き(60歳以上)
TEL 一般社団法人東京ニューシティ管弦楽団事務局 03-5933-3266

自由奔放なアスリートを演じる妻夫木聡、
ストイックなベテラン選手に仲村トオル。
深津絵里がシンガーソングライターを演じ、歌う!
そして、野田からのラブコールで
椎名林檎が劇中歌を担当!
ここにしかない出会い、ここにしかない表現、
ここにしかない体験!!
2012年9月、あなたの目の前に
観たことのない世界が広がる!

9月	5水	6木	7金	8土	9日	10月	11火	12水	13木	14金	15土	16日	17月・祝	18火	19水	20木	21金	22土	23日
14:00				●	●	休演		●		●	●	●	●	休演	●			◆	●
19:00	●	●	●	●			●	●	●	●					●	●	●	●	

9月	24月	25火	26水	27木	28金	29土	30日	10月	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月・祝	9火
14:00	休演	休演	●		●	●			休演	★			◆	●		休演	
19:00			●	●	●	●			●	★	●	●	●	●			

10月	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日
14:00	●			●	●	休演		●		●	●	休演			●			●	●
19:00	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

◆=視覚障がい者のための「舞台説明会」、聴覚障がい者のための「ポータブル字幕機提供」を実施致します(要予約)。詳細はHPもしくはお問合せください。 ★=ビデオ撮影のため、場内にカメラが入ります。

B 14日[金]~24日[月]

eyes plus
柿喰う客 無差別
作 中屋敷法仁
出演 七味まゆ味、玉置玲央、深谷由梨香、永島敬三、大村わたる、葉丸あすか、中屋敷法仁
料金 【前売】アリーナ7:4,800円(各回限定7席、前売のみ、劇団のみ取扱い)／一般:3,800円／初日割引:3,500円／平日昼間割引:3,500円／乱痴気公演:3,800円
【全ステージ共通割引】敬老(60歳以上):3,500円／学生:2,000円／高校生以下:1,000円(当日受付にて要身分証提示)
【当日】各前売より500円UP
TEL 柿喰う客:080-6801-7389(劇団) info@kaki-kuu-kyaku.com

9月	14金	15土	16日	17月・祝	18火	19水	20木	21金	22土	23日	24月
14:00		●	●	●			昼		●	●	昼
18:00		●		●	休演				●	●	
19:30	初				●	乱	●				

初=初日割引
昼=平日昼間割引
乱=乱痴気公演

B 19日[水] 19:00開演
古今亭菊志ん 独演会
〜馴れ親しんだイスを蹴飛ばして第二夜〜
料金 【前売指定】3,000円 【当日指定】3,000円
TEL 東京音協 03-5774-3030

D 21日[金] 18:30開演・22日[土] 14:00開演 芸劇落語会
料金 21日【前売自由】2,000円 【当日自由】2,500円 22日【前売自由】3,000円 【当日自由】3,500円
TEL 公益社団法人落語芸術協会03-5909-3080

C 20日[木] 19:00開演
一龍斎貞水 立体怪談 2012貞水夏舞台
料金 【前売指定】3,500円 【当日指定】3,500円
TEL 東京音協 03-5774-3030

E 26日[水]~30日[日]
結城座
江戸糸あやつり人形芝居
ミス・タナカ
料金 【前売当日指定】A席6,000円
【前売当日指定】B席4,500円
TEL 公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座 042-322-9750

9月	26水	27木	28金	29土	30日
13:00				●	
14:00			●		●
18:00				●	
19:00	●	●	●		

MONTHLYLINEUP
OCTOBER



最新の催物日程は東京芸術劇場ホームページ
www.geigeki.jp で随時更新しています。

ゲイゲキ 東京芸術劇場ボックスオフィス取扱 **03-5391-3010** チケットが売売となる場合がございます。
休館日 29日(月)30日(火) 休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承ください。

Concert Hall

A 1日[月] 14:00開演(13:00開場)

豊島区制施行80周年記念式典 & みんなの絆コンサート

出演 坂本和彦(Cond)/佐田玲子(Vo)/TAIRIKU(Vn)/佐田詠夢(Pf)/東京音楽大学シンフォニーオーケストラ ほか

料金 招待(往復はがきによる事前申込制) ほか

TEL 公益財団法人としま未来文化財団 03-3590-7118

B 6日[土]~8日[月・祝] 15:00開演(14:00開場)

東京芸術劇場リニューアル記念

G.ロジェストヴェンキー & 読売日本交響楽団
チャイコフスキー後期交響曲チクルス

出演 ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー(Cond)/ヴィクトリア・ボストニコワ(Pf)/読売日本交響楽団

曲目 チャイコフスキー/ピアノ協奏曲第1番、交響曲第4番

出演 ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー(Cond)/読売日本交響楽団

曲目 チャイコフスキー/幻想序曲「ロメオとジュリエット」、イタリア奇想曲、交響曲第5番

出演 ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー(Cond)/サーシャ・ロジェストヴェンスキー(Vn)/読売日本交響楽団

曲目 チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲、交響曲第6番「悲愴」

料金 セット券 S:18,000円/A:15,000円/B:12,000円 C:9,000円/D:6,000円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

C 11日[木] 18:00開演(17:00開場)

東京発・伝統WA感動 三弦 海を越えて~アジアから日本へ

出演 小山豊(津軽三味線)/フェイ・ジェンロン(中国大三弦) ほか

曲目 地歌「黒髪」、長唄「越後獅子」 ほか

料金 一般:4,000円/学生:2,000円(学生証の提示をお願いすることがあります)

TEL 東京発・伝統WA感動実行委員会 事務局 03-3467-5421

D 13日[土] 14:00開演(13:00開場)

読売日本交響楽団

第148回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 小林研一郎(Cond)/米元響子(Vn)/読売日本交響楽団

曲目 モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲 第4番 ほか

料金 S:7,000円/A:5,000円/B:4,000円/C:3,000円

TEL 読響チケットセンター 03-3562-1550

E 14日[日] 14:30開演(14:00開場)

ザ・ライジング・スターズ スーパーコンチェルト

出演 アレクサンドル・ラザレフ(Cond)/ノエ・乾(Vn)/レオナルド・エルシェンブロイヒ(Vc)/マリオ・ヘリング(Pf)/日本フィルハーモニー交響楽団

曲目 メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲、ドヴォルジャーク/チェロ協奏曲、ラマニノフ/ピアノ協奏曲第2番

料金 S:8,000円/A:7,000円/B:6,000円

TEL 日本フィル・サービスセンター 03-5378-5911(平日10:00~17:00)

F 15日[月] 19:00開演(18:00開場)

東京芸術劇場 Presents プラスウィーク 2012

東京佼成ウインドオーケストラ 第112回定期演奏会

出演 ポール・メイエ(Cond,Cl)/東京佼成ウインドオーケストラ

曲目 山内雅弘/主題の無いパッサカリア※委嘱作品

料金 S:5,000円/A:4,000円/B:3,000円/C:1,000円

TEL TKWOチケット専用ダイヤル 0120-692-556

G 16日[火] 19:00開演(18:00開場)

東京芸術劇場 Presents プラスウィーク 2012

宮川彬良と大阪市音楽団

曲目 「宇宙戦艦ヤマト」宮川音楽の勉強会

料金 S:5,000円/A:4,000円/B:3,000円/C:1,000円

TEL チケットスペースオンライン 03-3234-9999

H 17日[水] 19:00開演(18:00開場)

メトロポリタン・フロイデ・コア東京(MFC東京) 第13回定期演奏会

出演 角岳史(Cond)/山田英津子(Sop)/小嶋康子(Ms)/牧野成史(Ten)/小島聖史(Bar)/東京ニューシティ管弦楽団/メトロポリタン・フロイデ・コア東京/所沢バハアカデミー/横浜モーツァルトアカデミー

料金 SS:5,500円/S:5,000円/A:4,500円/B:4,000円/C:3,500円/D:3,000円

TEL MFC東京 合唱団事務局 042-519-2465

I 18日[木] Closed

JCNプレミアムコンサート2012

~ウィーン・フーゴ・ヴォルフ三重奏団~

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

関係者のみ

L 21日[日] 14:00開演(13:15開場)

新交響楽団 第219回定期演奏会

出演 曽我大介(Cond)/小原孝(Pf)/新交響楽団

曲目 ガーシェン/ラプソディ・イン・ブルー

料金 S:3,000円/A:2,500円/B:1,500円

TEL コンサートイマジン 03-3235-3777

M 22日[月] 14:00開演(13:00開場)

クラブツーリズム貸切公演

オータムスペシャルコンサート
秋川雅史×飯森範親 名曲レシビ

出演 飯森範親(Cond)/秋川雅史(Ten)/中井美穂(MC)/東京交響楽団

曲目 モーツァルト/交響曲第41番「ジュピター」「千の風になって」 ほか

料金 SS:8,000円/S:7,000円/A:5,500円/B:4,500円

TEL クラブツーリズム 03-5323-6799

N 25日[木] 19:00開演(18:00開場)

東京芸術劇場 Presents プラスウィーク 2012

飯森範親 & 陸上自衛隊中央音楽隊

出演 飯森範親(Cond)/陸上自衛隊中央音楽隊

曲目 三善寛/吹奏楽のための「クロス・バイ マーチ」

料金 S:4,000円/A:3,000円/B:2,000円/C:1,000円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

O 26日[金] 18:30開演(17:30開場)

25周年記念特別演奏会

<障害者週間>日本・ブルガリア・スペイン・セルビア文化交流演奏会

出演 及川光悦(Cond)/デニスラヴァ・チョチュエヴァ(Vn)/ダニエル・クーヤヴェッツ、ボディレ・スタルチュヴィッチ(Pf)

曲目 ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第1番

料金 S:6,000円/A:5,000円/B:4,000円

TEL 日本音楽文化交流協会 03-3442-2325

P 27日[土]

東京芸術劇場 Presents プラスウィーク 2012

バンドクリニック「中・高生のための楽しい吹奏楽」

料金 500円 ※要事前申込

TEL 東京芸術劇場事業第一係 03-5391-2114

Q 28日[日] 14:00開演(13:20開場)

インバル=都響 [新] マーラー・ツィクルスⅢ

「作曲家の肖像」シリーズvol.89

出演 エリアフ・インバル(Cond)/池田香織(Ms)/二期会合唱団/東京少年少女合唱隊/東京都交響楽団

曲目 マーラー/交響曲第3番 二短調

料金 ※全席売完

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

<

ロワー広場



1日[土]～5日[水] 東京芸術劇場リニューアル記念 TACT/FESTIVAL 2012 ひつじ

あの“ひつじ”が劇場の
リニューアルオープンを祝いにやってきます！
新しくなった劇場のアトリウム～ロワー広場に
“放牧”されるひつじたちに会いにきませんか？

出演 劇団コブス(カナダ)

TEL 東京芸術劇場事業企画課(平日9:00～17:45)
03-5391-2115

無 料

9月	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水
14:15		●			
17:15	●		休 演		
17:45				●	●

※[ショックヘッド・ピーター]の上演前に
ご覧いただけます。

Gallery 1

1日[土]～11日[火] Gallery 1・2
同時開催

東京芸術劇場リニューアル記念
2012全日本山岳写真展
未来に残そう美しい山河
TEL 全日本山岳写真協会 03-3634-8030
無 料

12日[水]～17日[月・祝]

紙画 彩彩会展

TEL 菅野 048-833-2075

無 料

19日[水]～23日[日] Gallery 1・2
同時開催

としま区民芸術祭 豊島区総合美術展

TEL 公益財団法人としま未来文化財団
みらい文化課プランセッション
03-3590-7118

無 料

25日[火]～29日[土]

第6回 美しき手書き文字の世界

日本フレンス・オブ・カリグラフィー協会展覧会
TEL 株日本ヴォーグ社 03-5261-8265

無 料

9月

10月

1日[月]～7日[日]

第20回 新和様・漢字造型書作家協会選抜展

TEL (財)日本書道教育学会 事業部
03-3234-3956

無 料

9日[火]～13日[土]

公募 第25回 水墨画振興展

TEL 西 03-3934-4586

無 料

15日[月]～19日[金]

第15回 記念「公募インテリアの書」展

TEL 墨のサロン(岩田) 049-284-4311

無 料

20日[土]～24日[水]

楽書会書展 第11回 東京展

TEL 楽書会(加藤) 080-5672-1168

無 料

26日[金]～28日[日]

内藤望山一門 第19回 大家会書展

TEL 内藤 042-577-0961

無 料

Gallery 2

1日[土]～11日[火] Gallery 1・2
同時開催

東京芸術劇場リニューアル記念
2012全日本山岳写真展
未来に残そう美しい山河
TEL 全日本山岳写真協会 03-3634-8030
無 料

12日[水]～17日[月・祝]

第20回 臨書と自由書作品コンクール

とき・力・前を～
TEL 高橋 03-3371-5123

無 料

21日[金]～23日[日] Gallery 1・2
同時開催

としま区民芸術祭 豊島区総合美術展

TEL 公益財団法人としま未来文化財団
みらい文化課プランセッション
03-3590-7118

無 料

25日[火]～29日[土]

オータムクラフトフェスタ

～日本ヴォーグ社認定講座発表会～
秋からはじめてくなるクラフト大集合！
TEL 株日本ヴォーグ社 03-5261-8265

無 料

9月

10月

1日[月]～7日[日]

区政施行80周年記念事業
豊島ふくろう・みみずく資料館所蔵
松浦千鶴コレクション特別公開

TEL 豊島区教育委員会教育総務課文化財係
03-3981-1190

無 料

9日[火]～13日[土]

現代作家秀作展2012

TEL 藝術出版社 03-3464-4451

無 料

14日[日]～19日[金]

第6回 東京カルチャー

ヴィレッジ受講生展覧会

TEL 東京カルチャーヴィレッジ(多田)
03-5391-3229

無 料

20日[土]～24日[水]

無

TEL グ・ギブン 080-5907-0880

無 料

25日[木]～28日[日]

～花のあるシーン～ 花の作品展

TEL フルール 090-4385-8397

無 料

Atelier East

9月

10月

F/Tインフォメーション

フェスティバル／トーキョー12の参加アーティストや
演目に関する最新情報を発信するほか、
過去演目の映像、関連資料などのアーカイブも随時閲覧可能。
また、トークイベントなどの企画が実施される予定です。

10月27日[土]～11月25日[日] 12:00～20:00 ※25日のみ12:00～16:00

※11月5日(月)、12日(月)、20日(火)を除く

TEL フェスティバル／トーキョー実行委員会事務局 03-5961-5202

Atelier West

9月

10月

1日[土]～5日[水]

第18回 JRP城北支部写真展ふくろう

TEL 清水 048-463-3367

無 料

7日[金]～11日[火]

美容界美術家クラブ絵画展

TEL 早川 045-983-2540

無 料

12日[水]～17日[月・祝]

第8回 日本画一会の会展

TEL 佐藤 03-3870-2153

無 料

19日[水]～23日[日]

第11回 豊島フォトクラブ作品展

TEL 森岡 03-3917-7726

無 料

24日[月]～30日[日]

「サロンDEボンドールの会」会員展

TEL 佐藤 090-1203-9122

無 料

1日[月]～7日[日]

江北・王怡清 二人展

TEL 江北 080-5057-6088

無 料

9日[火]～13日[土]

第20回 希鳳会書作展

TEL 佐野 048-479-4440

無 料

14日[日]～19日[金]

NAF展

TEL 藤島 03-3956-0960

無 料

20日[土]～24日[水]

書と友禅

TEL 小倉 03-3971-3830

無 料

25日[木]～28日[日]

第3回 雑司ヶ谷デジカメクラブ作品展

TEL 上條 03-3918-3282

無 料

PICK UP

集まれ!池袋みんなの大道芸

週末の芸劇は、フリーイベントの大道芸が盛り上げる!

チケット無しでも大丈夫。9月と10月は週末、芸劇のエントランスでさまざまな大道芸が披露されます。

お買い物、お散歩、お食事の行き帰り、気軽に足を伸ばしてください。

平日は〆大道芸人のタマゴ〆の修行に遭遇するかも？

公演時期=9～10月の土・日・祝 会場=劇場前広場

※9/22～23、10/6～7を除く

無 料

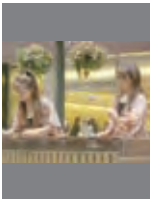
※雨天時はアトリウム内



中国雑技芸術団
【中国雑技】



GちょこMarble
【エアリアルアクロバット】



Natsu&Kayo
【マリンバDuo】



ちゅうサン
【パントマイム】



Daichi
【コメディ】



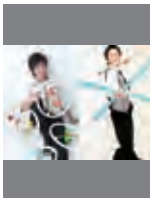
ブラックエレファント
【プラスクインテット】



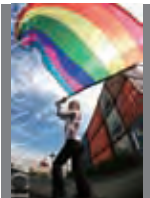
ユキンコアキラ
【リズムベント】



ALICE
【マジック】



Gimmick
【ジャグリング】



セクシー-DAVINCI
【セクシー大道芸】



加納真実
【パントマイム】



Ori-Toshi
【Jazz】



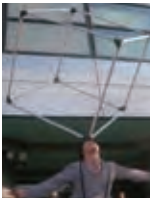
マサトモジャ
【マジック】



Koji Koji Moheji
【ディアボロ&バグパイプ】



サンキュー手塚
【コメディ】



サクノキ
【サーカスアクト】



小林智裕
【ジャグリング】



森田智博
【ジャグリング】



Cocochi-kit
【プラスクインテット】



Meriko
【ジブシーダンス】



紙磨呂
【マジック】



からし種キャラバン
【民族音楽】



鈴木拓矢
【ジャグリング】

PERFORMER SCHEDULE

9月1日[土]	2日[日]	8日[土]	9日[日]	15日[土]	16日[日]	17日[月・祝]	29日[土]
●中国雑技芸術団 ●GちょこMarble ●Natsu&Kayo ●ちゅうサン ●Daichi	●中国雑技芸術団 ●GちょこMarble ●Natsu&Kayo ●ちゅうサン ●Daichi	●ブラックエレファント ●ユキンコアキラ ●ALICE ●小林智裕	●ブラックエレファント ●ユキンコアキラ ●ALICE ●Gimmick	●セクシー-DAVINCI ●加納真実 ●Ori-Toshi ●マサトモジャ	●セクシー-DAVINCI ●加納真実 ●Ori-Toshi ●マサトモジャ	●Koji Koji Moheji ●加納真実 ●Ori-Toshi ●マサトモジャ	●GちょこMarble ●サンキュー手塚 ●サクノキ ●Gimmick
30日[日]	10月8日[月・祝]	13日[土]	14日[日]	20日[土]	21日[日]	27日[土]	28日[日]
●GちょこMarble ●サンキュー手塚 ●サクノキ ●小林智裕	●森田智博 ●Cocochi-kit ●Meriko ●マサトモジャ	●GちょこMarble ●Natsu&Kayo ●ちゅうサン ●ユキンコアキラ	●GちょこMarble ●Natsu&Kayo ●ちゅうサン ●ユキンコアキラ	●紙磨呂 ●からし種キャラバン ●鈴木拓矢	●紙磨呂 ●からし種キャラバン ●鈴木拓矢	●ユキンコアキラ ●森田智博 ●ALICE	●ユキンコアキラ ●森田智博 ●ALICE



雲の平盛夏／藤代茂

東京芸術劇場リニューアル記念

2012全日本山岳写真展

— 未来に残そう美しい山河 —

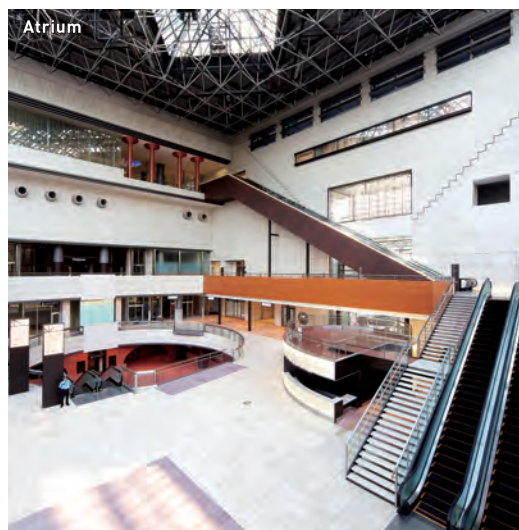
9月1日[土]～11日[火] [会場]Gallery 1・2

【開催時間】10:00～19:00(入場は閉場30分前まで) 無 料

9月1日(土)13:00～19:00/8日(土)10:00～18:00/11日(火)10:00～15:00

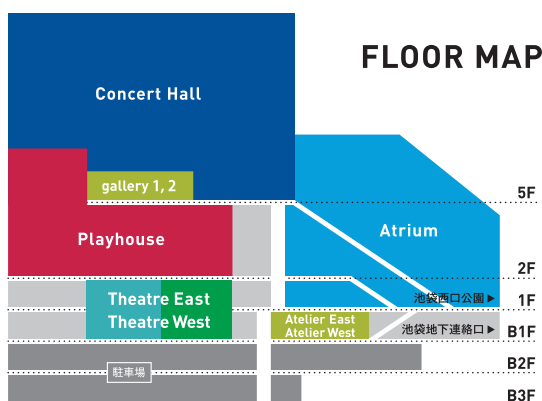
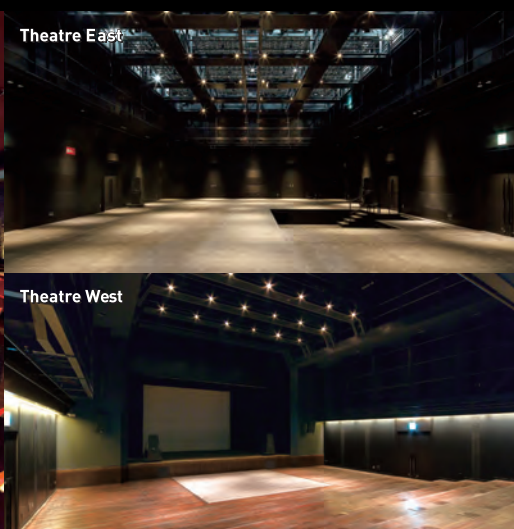
主催:全日本山岳写真協会 共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 後援:環境省/文化庁/林野庁/東京都/朝日新聞社/全日本写真連盟

全日本山岳写真協会が主催する
日本で最大規模の山岳写真展を開催。
会員及び一般公募として小中高生による
日本および海外の四季を通した山岳風景を
集めた約400点の作品の数々を
是非ご覧ください。
特別企画として写真家の講演、
協賛メーカーによるセミナーを開催します。



東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre



1F 東京芸術劇場ボックスオフィス

（チケット・総合案内カウンター）

インフォメーションに加え、東京芸術劇場で行う公演のチケット購入も可能。

【チケットの予約・お問合せ】

03-5391-3010（休館日を除く、10:00～19:00）

5F 芸劇キッズルーム ミューズ

（託児サービス）

東京芸術劇場でご鑑賞のお客様に開演1時間前～

終演後30分までお子様をお預かり致します。

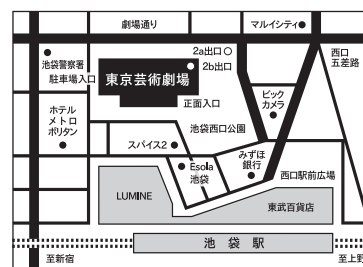
【利用料金】生後4ヶ月～1歳児：2,000円／2歳～6歳児：1,000円

【お問合せ】**03-3981-7003**

B2F B3F 東京芸術劇場駐車場

【利用料金】300円／30分 | 営業時間 | 7:00～24:00

【お問合せ】**03-6914-0019**（24時間）



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

アクセス JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線「池袋駅」

西口より徒歩2分 ※池袋駅2b出口直結

開館時間 9:00～22:00（休館日を除く）

【お問合せ】**03-5391-2111**

最新の催物日程は東京芸術劇場HPで

<http://www.geigeki.jp/>

《東京芸術劇場パートナー企業・団体 ご芳名》東京芸術劇場の年間運営事業に賛同し、ご支援くださっている皆様です。

アサヒグループホールディングス 株式会社	株式会社JTB法人東京 法人営業池袋支店	株式会社 奥村組東日本支社	株式会社 WOWOW
株式会社 資生堂	住友生命保険相互会社	ソニー銀行 株式会社	株式会社TBSテレビ
	立教大学	ヤマハサウンドシステム 株式会社	ホテルメトロポリタン
レンゴー 株式会社	株式会社 松田平田設計	トヨタ自動車 株式会社	明光義塾
一般財団法人 凸版印刷三幸会	三精輸送機 株式会社	西池袋熱供給 株式会社	早稲田塾
東京地下鉄 株式会社	丸茂電機 株式会社	株式会社 フジテレビジョン	

（2012年8月10日現在）